



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年7月31日

上場会社名 株式会社 アサックス

上場取引所 東

コード番号 8772 URL <https://www.asax.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 草間 雄介

問合せ先責任者 (役職名) 総務統括部長 (氏名) 松本 洪輔

TEL 03-3445-0404

四半期報告書提出予定日 2023年8月4日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	1,631	9.9	1,081	4.9	1,215	18.0	798	19.0
2023年3月期第1四半期	1,484	11.4	1,031	17.1	1,029	16.9	670	15.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	24.21	
2023年3月期第1四半期	20.34	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	102,664	43,836	42.7
2023年3月期	101,192	43,631	43.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 43,836百万円 2023年3月期 43,631百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		18.00	18.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		0.00		18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,296	5.9	2,218	0.9	2,218	0.9	1,442	0.7	43.73
通期	6,671	7.9	4,607	7.3	4,607	7.2	2,992	6.9	90.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	32,980,500 株	2023年3月期	32,980,500 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	4,500 株	2023年3月期	4,500 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	32,976,000 株	2023年3月期1Q	32,976,000 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、世界的な金融引締め等を背景とした海外景気の後退や、原材料・資源価格の高騰及び為替変動等に起因した物価上昇の進行等が国内景気の下振れリスクとなり、先行き不透明な状況にあるものの、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、緩やかな回復基調で推移しました。

不動産金融市場においては、都心近郊における住宅地・商業地の地価水準は堅調に推移しているものの、先行きについては前述のリスクに加え、金融政策の転換等が不動産の流動性や価格に与える影響を注視していく必要があります。

このような環境の下、当社においては、従来通り「債権の健全性」を重視して債権内容の維持に努めつつも、積極的な顧客開拓を行ってまいりました。

その結果、当第1四半期末における営業貸付金残高は、前事業年度末の88,641,883千円から2,750,363千円(3.1%)増加の91,392,247千円となりました。

当第1四半期累計期間における経営成績は以下の通りです。

営業貸付金利息は、期中平均貸付金残高が前年同四半期比13.9%の増加となったこと等により、前年同四半期比88,344千円(8.2%)の増加となりました。

その他の営業収益は、解約違約金が減少となったものの、手数料収入及び不動産賃貸収入が増加となったこと等により、前年同四半期比58,535千円(14.4%)の増加となりました。

以上により、当第1四半期累計期間における営業収益は、前年同四半期比146,879千円(9.9%)の増加となりました。

金融費用は、期中平均借入金残高が前年同四半期比37.6%の増加となったこと等による支払利息の増加等により、前年同四半期比34,010千円(44.0%)の増加となりました。

売上原価は、不動産賃貸原価の計上により、前年同四半期比49,534千円の増加となりました。

その他の営業費用は、前年同四半期比12,904千円(3.4%)の増加となりました。

以上により、当第1四半期累計期間における営業費用は、前年同四半期比96,448千円(21.3%)の増加となりました。

営業外収益は、為替差益及びデリバティブ評価益の計上があり、前年同四半期比131,674千円の増加となりました。

営業外費用は、当四半期において計上するものはなく、前年同四半期比3,459千円(100.0%)の減少となりました。

特別損益において利益に大きな影響を与えるものはなく、法人税等合計は、前年同四半期比62,586千円(17.5%)の増加となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における業績は、営業収益は1,631,836千円(前年同四半期比9.9%増)、営業費用は550,302千円(同21.3%増)となり、営業利益は1,081,534千円(同4.9%増)、経常利益は1,215,134千円(同18.0%増)、四半期純利益は798,671千円(同19.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

流動資産

当第1四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末の96,477,622千円から300,618千円(0.3%)増加の96,778,241千円となりました。これは主として、現金及び預金が1,983,197千円(31.3%)の減少及びその他に含まれる関係会社貸付金が減少となったものの、営業貸付金が2,750,363千円(3.1%)の増加となったこと等によるものです。

固定資産

当第1四半期会計期間末における固定資産は、前事業年度末の4,715,084千円から1,171,292千円(24.8%)増加の5,886,376千円となりました。これは主として、投資その他の資産のその他に含まれる満期保有目的債券が増加となったこと等によるものです。

② 負債の部

流動負債

当第1四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末の15,514,786千円から83,469千円(0.5%)減少の15,431,316千円となりました。これは主として、1年以内返済予定の長期借入金及び預り金が増加となったものの、未払法人税等が減少となったこと等によるものです。

固定負債

当第1四半期会計期間末における固定負債は、前事業年度末の42,046,338千円から1,350,276千円(3.2%)増加の43,396,615千円となりました。これは主として、有利子負債が1,364,783千円増加となったこと等によるものです。

③ 純資産の部

配当金の支払い593,568千円があった一方、四半期純利益を798,671千円計上したことにより、利益剰余金が増加となり、当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末の43,631,582千円から205,103千円(0.5%)増加の43,836,685千円となりました。なお、自己資本比率は42.7%(前事業年度末は43.1%)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年4月28日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,345,119	4,361,922
営業貸付金	88,641,883	91,392,247
販売用不動産	38,316	40,266
前払費用	46,958	48,086
その他	1,503,343	1,037,118
貸倒引当金	△98,000	△101,400
流動資産合計	96,477,622	96,778,241
固定資産		
有形固定資産	3,943,543	3,944,324
無形固定資産	27,501	33,032
投資その他の資産		
その他	744,039	1,909,019
投資その他の資産合計	744,039	1,909,019
固定資産合計	4,715,084	5,886,376
資産合計	101,192,706	102,664,617
負債の部		
流動負債		
1年以内返済予定の長期借入金	14,416,364	14,663,032
未払金	85,946	94,114
未払費用	40,935	48,770
未払法人税等	903,818	397,787
預り金	17,456	124,402
前受収益	21,208	22,266
賞与引当金	27,465	52,579
その他	1,592	28,363
流動負債合計	15,514,786	15,431,316
固定負債		
長期借入金	40,664,192	40,028,975
関係会社長期借入金	—	2,000,000
退職給付引当金	107,100	108,400
役員退職慰労引当金	1,071,100	1,082,775
その他	203,946	176,465
固定負債合計	42,046,338	43,396,615
負債合計	57,561,124	58,827,931
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,307,848	2,307,848
利益剰余金	41,324,984	41,530,087
自己株式	△1,250	△1,250
株主資本合計	43,631,582	43,836,685
純資産合計	43,631,582	43,836,685
負債純資産合計	101,192,706	102,664,617

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
営業収益		
営業貸付金利息	1,079,354	1,167,699
その他の営業収益	405,602	464,137
営業収益合計	1,484,956	1,631,836
営業費用		
金融費用	77,229	111,240
売上原価	—	49,534
その他の営業費用	376,623	389,527
営業費用合計	453,853	550,302
営業利益	1,031,103	1,081,534
営業外収益		
受取利息	0	0
関係会社貸付金利息	1,422	451
受取手数料	290	—
雑収入	214	192
有価証券利息	—	4,044
為替差益	—	88,151
デリバティブ評価益	—	40,760
営業外収益合計	1,926	133,600
営業外費用		
固定資産除却損	3,459	—
営業外費用合計	3,459	—
経常利益	1,029,570	1,215,134
特別利益		
固定資産売却益	29	4,742
特別利益合計	29	4,742
税引前四半期純利益	1,029,600	1,219,877
法人税、住民税及び事業税	359,104	380,425
法人税等調整額	△485	40,779
法人税等合計	358,618	421,205
四半期純利益	670,981	798,671

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。